

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-521735(P2004-521735A)
 【公表日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-028
 【出願番号】特願 2002-573154(P2002-573154)
 【国際特許分類第 7 版】

B 0 5 D 1/28

B 0 5 D 7/24

【F I】

B 0 5 D 1/28

B 0 5 D 7/24 3 0 1 J

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被覆した状態の顔料含有材料において目に見える顔料剥離を回避するように、顔料含有材料を基板の上に高速被覆する方法であって、

被覆する被覆面を有する第 1 基板を提供するステップと、

顔料含有液体被覆材料を提供するステップと、

第 1 基板が、少なくとも 50 f t . / 分 (15 . 24 m / 分) の高速線速度で動いている間に、直線の動的湿潤線に沿って第 1 基板の表面に被覆材料を塗布して、第 1 基板の被覆面と接している境界面を有する被覆層を形成するステップと、
 を含み、

前記第 1 基板は、前記被覆層から除去することができ、前記第 1 基板が前記被覆層から除去されるとき、前記被覆層が目に見える顔料剥離を境界面上に示さない、方法。

【請求項 2】

被覆した状態の顔料含有材料において目に見える顔料剥離を回避するように、顔料含有材料を基板の上に高速被覆する方法であって、

被覆する被覆面を有する第 1 基板を提供するステップと、

顔料含有液体被覆材料を提供するステップと、

第 1 基板が、少なくとも 50 f t . / 分 (15 . 24 m / 分) の高速線速度で動いている間に、第 1 基板の表面に被覆材料を塗布して、第 1 基板の被覆面と接している境界面を有する被覆層を形成するステップと、
 を含み、

前記塗布は、

第 1 速度で第 1 の方向に第 1 基板を動かせるステップと、

アプリケーション・ロールを第 1 の方向に反対する第 2 の方向に回転させている間に、前記被覆材料をアプリケーション・ロールから第 1 基板の被覆面に移送させるステップとを

含み、

前記アプリケーション・ロールの回転速度が第 1 速度の 3 ~ 5 倍の間に保たれており、また

前記第 1 基板は、前記被覆層から除去することができ、前記第 1 基板が前記被覆層から除去されるとき、前記被覆層が目に見える顔料剥離を境界面上に示さない、方法。

【請求項 3】

被覆した状態の顔料含有材料において目に見える顔料剥離を回避するように、顔料含有材料を基板の上に高速被覆する方法であって、

被覆する被覆面を有し、ライナを含有する第 1 基板を提供するステップと、

顔料含有液体被覆材料を提供するステップと、

第 1 基板が、少なくとも 50 f t . / 分 (15 . 24 m / 分) の高速線速度で動いている間に、直線の動的湿潤線に沿って第 1 基板の表面に被覆材料を塗布して、第 1 基板の被覆面と接している境界面を有する被覆層を形成するステップと、

を含み、

前記ライナは、除去することができ、前記ライナが除去されるとき、前記被覆層が目に見える顔料剥離を境界面上に示さない、方法。

【請求項 4】

被覆した状態の顔料含有材料において目に見える顔料剥離を回避するように、顔料含有材料を基板の上に高速被覆する方法であって、

被覆する被覆面を有し、ライナを含有する第 1 基板を提供するステップと、

顔料含有液体被覆材料を提供するステップと、

第 1 基板が、少なくとも 50 f t . / 分 (15 . 24 m / 分) の高速線速度で動いている間に、第 1 基板の表面に被覆材料を塗布して、第 1 基板の被覆面と接している境界面を有する被覆層を形成するステップと、

を含み、

前記塗布は、

第 1 速度で第 1 の方向に第 1 基板を動かせるステップと、

アプリケーション・ロールを第 1 の方向に反対する第 2 の方向に回転させている間に、前記被覆材料をアプリケーション・ロールから第 1 基板の被覆面に移送させるステップとを

含み、

前記アプリケーション・ロールの回転速度が第 1 速度の 3 ~ 5 倍の間に保たれており、また

前記ライナは、除去することができ、前記ライナが除去されるとき、前記被覆層が目に見える顔料剥離を境界面上に示さない、方法。